

住民意向調査速報版（檜葉町）の公表について

原発事故による避難者等に対する住民意向調査について、檜葉町の住民を対象とした調査結果を取りまとめました。

1. 調査概要

檜葉町

調査主体	復興庁、福島県、檜葉町
調査対象	全世帯主（3,378世帯）
実施期間	平成29年10月2日～10月16日
回答者数	1,590世帯（回収率47.1%）

2. 調査結果のポイント

別紙のとおり

本件連絡先
（原子力災害復興班）担当：高田、中島
電話：03-6328-0250（直通）

檜葉町調査結果のポイント

- ・現在の居住状況や今後の居留意向、今後の生活において求める支援等の把握を目的に実施。（記名式）
- ・復興庁、福島県、檜葉町の共同調査は6回目。
- ・帰還の意向については、
 - ・平成28年度の調査と比べて、「戻っている」及び「早期に檜葉町に戻る」並びに「条件が整えば、檜葉町に戻る」の合算が54.3%に増加（+1.1%）。
 - ・「早期に檜葉町に戻る」と回答した11.6%のうち、86.5%（全体の10.0%に相当）は1年以内に戻る意向。
 - ・平成28年度の調査と比べて、「檜葉町には戻らない」が増加（+2.3%）。
 - ・平成28年度の調査と比べて、「戻るかどうかについて、今はまだ判断ができない」が減少（▲3.0%）。

（1）帰還の意向

檜葉町に戻っている	28.5% (17.8%)
早期に檜葉町に戻る	11.6% (11.5%)
条件が整えば、檜葉町に戻る	14.2% (23.9%)
檜葉町には戻らない	27.5% (25.2%)
戻るかどうかについて、今はまだ判断ができない	16.8% (19.8%)

※(カッコ)書きは、それぞれ前回調査(H29.1)結果

（2）帰還を判断する上で参考にする情報（上位抜粋）

医療施設の充実度	64.4%
放射線量の低下の状況	49.4%
商業施設の再開・充実の状況	46.4%
町内の治安の状況	43.4%
介護・福祉施設の充実度	38.6%

※帰還の意向で「戻るかどうかについて、今はまだ判断ができない」と回答した方のみ回答

（3）戻らないと決めている理由（上位抜粋）

医療施設が十分でないから	42.0%
自宅周辺の放射線量が心配だから	37.2%
商業施設の再開が十分でないから	29.0%
自宅周辺に住む人が少ないから	28.8%
水道水等の生活用水の安全性に不安があるから	27.2%

※帰還の意向で「檜葉町には戻らない」と回答した方のみ回答